

自分らしく生きていくための書籍・雑誌の紹介



BOOK 図書資料室より書籍案内

『女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる』

露の団姫 // 著 春秋社 2019年



落語家であり僧侶である著者の経験や感じたことが、軽妙なタッチで語られています。「学級委員は男の子」「お茶くみは女のすること」「母親なのに子どもをおいて仕事に行くのか」というような、おしつけられがちな性別役割意識。自分の名前への思い入れから夫婦別姓を選択したいきさつ。女だから、男だからという性別にとられない生き方という著者の提唱する生き方は、男女共同参画の考え方をわかりやすく言い表したものと見え、男女共同参画の入門書として最適な一冊です。

『これからの男の子たちへ』

太田啓子 // 著 大月書店 2020年



「社会から性差別をなくすために男の子の育て方こそ大切じゃない?」
離婚やハラスメント、性暴力に取り組む弁護士であり、二人の息子を育てる著者が語るジェンダー平等時代の子育て論。
男の子たちには、ごく幼いうちから「有害な男らしさ」(暴力や性差別的な言動につながったり、自分自身を大切にできなくせたりする)のインストールが始まります。こうした「男らしさ」の呪いから自由になって差別や性暴力に怒り、一緒にたたかってくれる男性が増えることで、社会に「新しい常識」が生まれ、社会を変えていけるのではないのでしょうか。

☆ジェンダーや男女共同参画に関する雑誌も多数あります。



『イトセトラ』
イトセトラブックス 発行



『女性情報』
パド・ウィメンズ・オフィス 発行



『女性展望』
市川房枝記念会女性と政治センター 発行



男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど6万冊以上の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。



ジェンダークイズ

Q1 世界経済フォーラムが出しているジェンダーギャップ指数2021(男女格差を表す指数)は日本は156か国中何位でしょう?
①23位 ②77位 ③120位

Q2 令和3年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズは「女だから、男だから、ではなく、Oだから、の時代へ」です。Oに入る言葉(漢字一文字)は何でしょう?
①11年 ②21年 ③31年
答えはp12下部に掲載

以前、デートDVの講義が終わった後、「あなたの恋愛充実度は?」というパンフレットを生徒みんなに配付しました。担任と一緒に見ると、大部分の生徒は1ページ目の『恋愛充実度チェック』で、「そもそも、恋人なんかいないのでこの時点で関係ない」と、笑うばかりでした。しかし、そんな生徒たちの感想文を読んだら、「いつか恋人ができて、相手のことを考えて…」や「自分には恋人はいないが、DVに悩んでいる友だちがいいたら力になってあげたい」等と、うれしくなるようなものばかりでした。もちろん設問・解答的な書き方ではあると思いますがそれを差し引いても、身近な恋愛の話から、他者を思いやる気持ちを持ってくれたと考えています。



私がデートDVの出前授業を男女共同参画センターにお願いする理由は、デートDVをDVの話だけで済ませるのではなく、『他者理解や自分を他者に理解してもらう』こととまで広げてお話ししたくなるからです。現状、恋人なんか夢の又夢の本校の二年生みんなにとっては、デートDVを学ぶことはデートDVだけでなく、人権やダイバーシティを学ぶことそのものだと考えています。そこで自分と他者という考え方が大変重要になると思うからです。全ての取り組みは他者を理解し尊重することと自己を大切にすることにつながっていると考えています。デートDVを学ぶことで、その先に広がる人権尊重の考え方を学ぶことになると思っています。

まずは正しい知識を
デートDVは児童生徒にかかわりのある問題ではありますが、身近な問題ととらえる子は少ないように思います。しかしデートDVは人生を大きく狂わせてしまう大きな問題であるとともに、DVにもつながりやすいのです。また、DVも身体的暴力ととらえられがちで、被害に気づいていない場合も多いです。そこで、滋賀県立男女共同参画センター「GNET」が「では、正しい理解と予防、解決への道筋を示すために、「より良いパートナーシップ・デートDV」について出前授業を行っています。主に①ジェンダー ②一人ひとりのちがいの尊重 ③境界線 ④デートDVについて共に考える授業を提供しています。ジェンダーについては、高校生であっても初めて聞く生徒が多くいます。学校教育で取り扱われることが少なく、これまで考えることがほとんどなかったのではないのでしょうか。生物学的な性とそのまますた社会学的な性(ジェンダー)として男女を分けてしまっている現実があり、子どもたちも将来自分の進みたい道を狭められてしまうことにもなります。男女

VOICE

happy

デートDVに関する学習コンテンツは

『違いを理解し受け入れること』

比叡山高等学校 人権教育主事 稲田宏一先生



児童生徒は何を学び、どう考えるのか



中学校でのワークショップの様子

ちがいはお互いを高める宝物という言葉がとても心に響きました。

